

平成23年12月14日
群馬産業技術センター
環境・省エネ係
電話 027-290-3030

電解技術とマイクロバブルによる排水処理技術 ～ 試作機を公開します～

群馬産業技術センターでは、企業と連携し、油分等が混入している排水を分離し、環境浄化が期待される技術を開発しました。
コンプレッサドレン水、切削加工工程の洗浄水など油分が混入した排水を処理し油と水に分離することが出来ます。分離水は安心して排水することが出来ます。

実証機の公開について

- 1 日 時 平成23年12月14日(水)～平成24年1月6日(金)午前10時～午後4時
来所時間を事前にご連絡願います。
- 2 会 場 群馬産業技術センター 玄関ホール内(前橋市亀里町884-1)
- 3 対象者 報道機関の方に限定させていただきます。
- 4 内 容 ・実証機(実物)の見学
・開発技術及び実証機に関する質疑
- 5 問合せ 群馬産業技術センター 環境・省エネ係 鈴木



水処理装置(デソカバブーン)

排水処理システムの概略

1 研究の成果

コンプレッサドレン水、切削加工工程の洗浄水には、微量の油が微粒子形状で分散しています。このような乳化状になると油水分離が難しく廃液処理コストがかかります。開発技術では乳化状の排水から簡便に油と水に分離することが出来ます。

- (1)分離水は安心して排水できます。廃棄物は油分だけになり廃液処理コストが低減します。
- (2)排水の状態にもよりますが、分離水は再使用できます。
- (3)電気使用量は少なく、運転コストを抑制しています。

2 今後の取組

性能確認を行った後、今年度中の商品化を目指します。

3 開発の背景

- (1)切削加工後の部品洗浄にはこれまで、ハロゲン系溶剤、炭化水素系溶剤が使われてきましたが、最近では、水系洗浄が増加しています。これに伴い、油を含む排水(乳化状の水)が増加しています。
- (2)従来技術では微粒子状油分を含む乳化状の排水を簡便に分離することが難しく、産廃として処分するしかありませんでした。
- (3)本技術によると乳化状の排水を電解とマイクロバブルの組合せによって、浄化された水と少量の油分に分離することが出来ます。

4 その他

共同開発企業：シンコー技研株式会社(石栗幸博社長： 太田市大久保町124-2)



水処理例(右:排水、左:処理後)